

たつとの交流コーナー

7月25日(木) たつ市の会のかたの会ぶんなかともしこの文中智子さんと志水しみず豊章さんが『女権』創刊号翻刻のために、鳥取県立博物館に資料の確認に来られました。何回ものチェックの上この秋の発刊となりそうです。

『ちゝはゝのふるさとを訪ねて』
を読んで

この冊子は赤とんぼの母として知られている碧川かたの長女澄女史が婦人民政児童委員代表者研究協議会に埼玉県代表の一人として開催地出雲に、そして松江・米子に足を踏み入れた時の状況を書き綴ったものがあります。昭和三十六年七月十八日から五日間の旅を秋になり書き綴り、十二月八日に終えています。内容は1. 出雲路をたどる 2. 出雲市の3日間 3. 松江とるり柳 4. バックストン氏の足跡 5. 米子の夜 6. 明治は遠くなりけり 7. 天神町の家 の項で書かれています。

るり柳というのは花の木であり、枝のたれていない生花などにつかう細い葉のやなぎに似たもので、うす紫の小さい花をたくさんつけている。現代風にはライラックカラー、その色のかんじは秋の野に咲く野菊の色で

ある。と書いてあります。松江の八雲旧居に行った時には見てみたいものです。

松江では北堀を前にするバックストン氏旧居の教会を訪問されている。英国人宣教師で明治23年来日し松江で伝道した人です。そのバックストン家のお手伝いをされていた85歳の松本つるのさんに会えて、思い出話しをされた。師は自転車や船で米子まで行かれたそうで、祖父(佐司衛)や母(なおの)を偲ばれたようだ。

米子では天神様社務所の黒見の叔父(黒見万)や従妹が皆生温泉の部屋をとつてくれていて、楽しいひとときを過ごしたことが書かれています。

米子市 榎野省吾



碧川本家、熊雄の妻の実家である西村家代々の墓がある一瑞泉寺前で榎野省吾さん

「米子パネル展終了」

★今年度予定していた

「碧川かた手作り資料展」は7月23日ですべて終了しました。

秋・冬にどこかで展示してほしいというご要望がありましたら、ご一報ください。

★9月7日(土) 午後1時半～3時半

倉吉市立図書館で「鳥取県を舞台に！歴史大河ドラマを推進する会」があります。

令和元年度選考会をしますので、皆様おいでください。

「次回研究会」

★上演前研究会

「場所」鳥取県立博物館講堂

「日時」10月25日(金)

午後12時半～2時半

「主なテーマ」童謡「赤とんぼ」に込められた露風の気持ち

※事前申し込みは不要です。

★11月9日(土)と10日(日)は

鹿野で鳥の演劇祭の一部として「赤とんぼよ永遠に」が上演されます。

